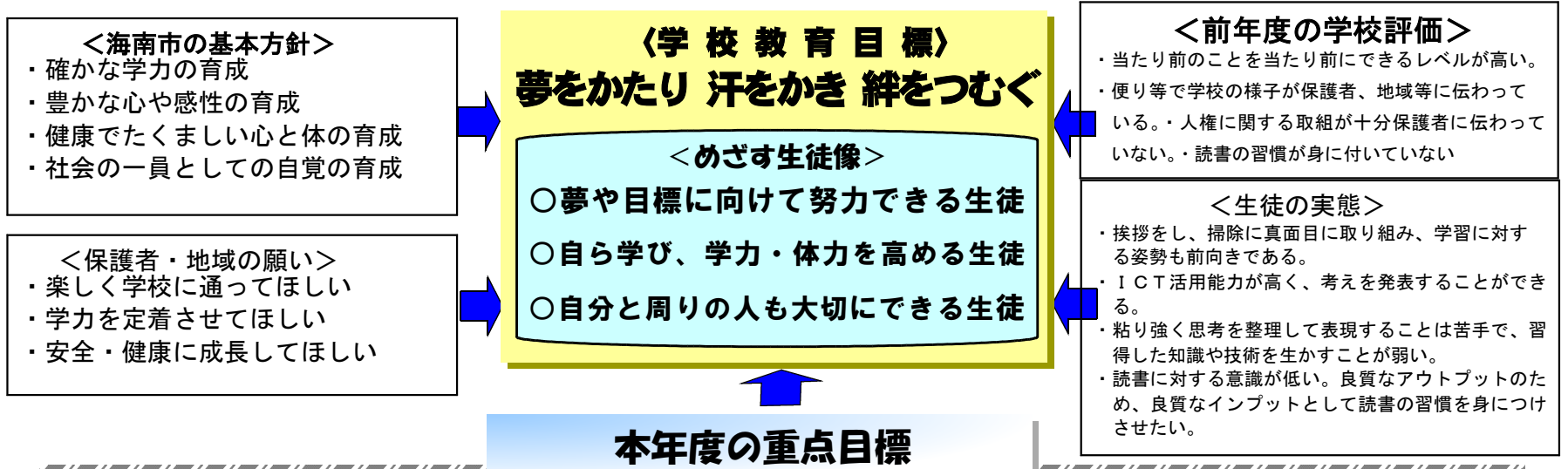


# 令和8年度 海南市立下津第二中学校 スクールプラン



### 自ら学ぶ力を育て、確かな学力をつける

- ①「わかる・できる」を実感できる授業づくりを推進する。
  - ・知識・技能の確実な定着と思考力・判断力・表現力を育む学習を充実させ、主体的に学ぶ態度を育てる。
  - ・チーム・ティーチング等の工夫改善を行い、個別最適な学びと協働的な学びの双方を強化する。
  - ・インクルーシブ教育、授業におけるユニバーサルデザインの視点を生かし、多様な生徒に応じた指導を行う。
- ②「主体的・対話的で深い学び」について研究を深める。
  - ・「深い学び」、「ICTの活用」について研究を深める。
- ③読書に親しみ、家庭での学びを大切にできる力を育てる。
  - ・朝読書を充実させ、読書を日常に取り入れる習慣を養う。
  - ・ICTを効果的に活用し、自主的に学習に取り組む姿勢を育て、家庭学習の定着を図る。

### 豊かな心や感性を育む

- ④主体的に取り組む活動を充実させ、感動と活力に満ちた学校生活を創造する。
  - ・学校行事や生徒会活動等を通して、生徒の自主性・協調性を高め、成功体験や感動体験を得られる場を整える。
- ⑤いきいきとした学校づくりを推進する。
  - ・互いを尊重し、温かい人間関係を築き、心の居場所としての学級・学年づくりを充実する。
  - ・思いやりを基盤とした、いじめのない健全な集団の育成を目指す
  - ・人権教育を深化させ、自他の理解、障害理解、命の尊重について主体的に考える力を育む。
- ⑥道徳性を育成する。
  - ・特別の教科道徳を要として、学校教育活動全体を通じて道徳教育に取り組む。

### 健康でたくましい心と体を育てる

- ⑦生徒の生活実態を把握し、正しい生活習慣と秩序ある校風を創造する。
  - ・挨拶・授業規律・清掃活動を重視し、清潔感に満ち、落ち着いた雰囲気を作る。
  - ・一日や授業の始まりと終わりを大切にする。
  - ・「下二中ネットルール」を推奨し、スマホ、ゲーム機等の適切な使用について啓発する。
- ⑧欠席しがちな生徒への支援の充実を図る。
  - ・家庭・SC・関係機関と密に連携し、組織的に支援する。
- ⑨体力の向上と部活動の充実を図る。
  - ・自主的な活動を通して、仲間との連帯感を培うとともに、気力・体力・技能・礼儀を向上させる。
  - ・駅伝や運動を通して、競技力の基礎となる走る力を強化する。

### 地域とともにある、信頼される学校づくり

- ⑩学校情報を積極的に発信し、地域と連携した活動を通して市民性を育てる。
  - ・福祉への関心を高め、社会に貢献しようとする態度を育てる。
  - ・学校運営協議会や地域との協働を進め、地域に開かれた学校づくりを推進する
  - ・生徒が主体的にボランティア活動へ参加できる機会を充実させる。
- ⑪総合的な学習の時間で体験的な学習の充実を図る。
  - ・地域等と連携した体験的な活動を通じて、自己を理解させ、将来の生き方を考えさせる。
- ⑫防災の意識を高め、地域と連携して災害に備える力を育てる。
  - ・地域で想定される災害を学び、適切に判断し行動できる力を育成する。
  - ・家庭・地域と連携し、災害時の行動や備えについて共通理解を進め、自他を護り、適切に判断し行動できる「共助」の力を育てる。

## 重点目標にかかる指標

- ① 生徒アンケートで、「授業がわかる」の問いに肯定的な意見が90%以上となる。
- ② 授業改善に向けて、教員全員が研究主題に添った公開授業または研究授業を年1回以上実施する。
- ③ 生徒アンケートで、「1週間に2時間以上家庭学習をする（塾等も含む）日が3日以上ある」の肯定的な意見が60%以上となる。
- ④ 生徒アンケートで、「活気ある学校か」の問いに肯定的な意見が90%以上となる。
- ⑤ 生徒アンケートで、「学校が楽しい」の問いに肯定的な意見が100%となる。
- ⑥ 生徒アンケートで、「トイレのスリッパを丁寧にそろえる」の問いに肯定的な意見が90%以上となる。
- ⑦ 生徒アンケートで、「そうじの取組」の問いに肯定的な意見が90%以上となる。
- ⑧ 教員アンケートで、「欠席しがちな生徒への連携した支援」の問いに肯定的な意見が100%となる。
- ⑨ 体力テストの結果が、実施種目2/3で全国平均を上回る。
- ⑩ 学校運営協議会による学校評価で、「地域との連携」の問いに肯定的な意見が90%以上となる。
- ⑪ 生徒アンケートで「体験的な学習」の問いに肯定的な意見が90%以上となる。
- ⑫ 生徒アンケートで、「防災学習」の問いに肯定的な意見が80%以上となる。